

公益社団法人 神戸海事広報協会

令和4年度事業中間報告（令和4年4月～11月）

【事業の概況】

- 令和4年4月～6月頃にかけては、新型コロナ禍への警戒機運が高い時期となり、この期間に実施を予定、あるいは開催準備を進める必要があった下記のイベント等は、中止を余儀なくされました。

[中止となったイベント等]

令和4年 5月 神戸まつりパレード
メリケンパーク五月祭、海の絵画写生会
神戸港カッターレース
7月 「海の日」祝賀会
親子交流海洋教室
8月 こども交流海洋教室

- しかしながら、6月からの「まん延防止等重点措置」の段階的な解除、水際警戒措置の緩和等を受け、6月後半からは関係機関・団体等のイベントが、厳格な感染防止措置や従来から形式を変更する等の対策を行いつつ、徐々に再開されてきました。
- 当海事広報協会においても、6月後半以降に企画・実施が可能な事業について再開に努めたほか、実施できなかった事業についても代替事業の企画・実施に努めてきました。
- また、特に夏～秋期の限られた実施期間内において、イベント催行にかかる人的・物的なりソースを有効活用すべく、関係機関・団体との事業連携にも努めました。

【各事業の実施状況】

I. 公益目的事業

1. 体験活動等（事業区分4）

(1) 青少年の海事意識啓発

小学生を対象にした海洋博物館等の海事施設見学や、船舶を利用した海洋・沿岸環境の乗船ウォッチング等の体験学習会を実施し、青少年の海事知識啓発に努めました。

船との出会い事業 （公財）日本海事広報協会からの受託事業

① 校外学習

兵庫県下の小学校3年生～中学校1年生を対象に、体験学習会を通じ海への理解と関心を深めてもらうことを目的に、9月から11月に神戸海洋博物館の見学、新造フェリーの船内見学、港内乗船ウォッチング等を実施し、青少年に対する海事意識の啓発を図りました。

今年度は、新型コロナ禍の影響で4～6月期は当該事業への申込が無かったものの、学校側の校外学習再開の機運を受け、9月以降に申込が回復してきました。

また、本事業の対象は基本的には小学生でしたが、新型コロナ禍のため小学生時代に校外学習の機会が無かった中学生の参加要望も、広く受け入れることとしました。

参加校6校 児童・生徒602名 教師30名

※うち小学生57名、中学生190名は他事業と重複

② 出前授業及び施設見学

1) 出前授業

神戸運輸監理部と連携し、4月～11月の間に以下の出前授業を実施しました。

- 5月16日 小学3年生 1名、同4年生 8名（北区 好徳小）
- 10月19日 中学2年生152名（兵庫区 兵庫中学校）
- 11月10日 中学2年生 8名（須磨区 東落合中学校）

なお、今年度は新型コロナ禍の影響もあり、12月以降に申込が集中しています。

2) 船上出前授業

神戸運輸監理部と連携し、神戸市内中学生の校外学習として、神戸港遊覧船に乗船しての港内施設見学（1. ①校外学習）とともに、「波止場町通まちづくり協議会」の協力のもと「神戸港の歴史を語り継ぐ」と題した船上出前授業を実施しました。

- 11月 4日 中学1年生190名（須磨区 鷹取中学校）

2) 施設見学

神戸市内小学生の校外学習の一環として、神戸港遊覧船による港内施設見学（1. ①校外学習）に併せて、宮崎カーフェリー(株)の協力による「フェリー船内見学」を実施しました。また、同時に神戸運輸監理部の協力による「フェリーについて」の講義も行いました。

- 11月16日 小学5年生 57名（灘区 市立灘小学校）

③ 「神戸港バックヤードツアー」への協力・参加

今年度、神戸市港湾局が小中学生向けに「普段見られない港の裏側を知る」をコンセプトとして展開された学習見学イベント「神戸港バックヤードツアー」の実施に、当協会も全面的に18協力・参加しました。

- 7月 3日 宮崎カーフェリー「たかちほ」船内見学
親子20組50名
- 7月27日 港湾短期大学とKICT見学
親子16組32名
- 8月24日 「ルミナス2」船内見学+神戸海洋博物館見学
親子13組26名
- 10月 1日 「みらいへ」体験乗船（クルーズと船内作業体験等）
※船内で神戸運輸監理部船員労政課長による講義含む
親子34組95名
- 10月 8日 宮崎カーフェリー「ろっこう」船内見学
親子69組165名
- 11月13日 港湾短期大学見学
親子17組36名

★ 例年実施してきた「親子交流海洋教室」「こども交流海洋教室」は、今年度、以下の事由で中止といたしました。

「親子交流海洋教室」

- ・ 例年6月期に企画・募集等し8月期に実施していたが、新型コロナ禍の影響で7月に入るまで募集を開始できず。
- ・ 9月実施の方向で検討したが、「海の出会い事業」応募が9～10月に急増したため、親子海洋教室を「海の出会い事業」に振り替えることとした。

「こども交流海洋教室」

- ・ 伊丹市ボートレース事務局、洲本場外発売場運営協議会共催にて例年5月期に企画・募集、7月期に実施していたが、今年度は洲本側より新型コロナ禍を理由に中止が進言され、関係者間で中止を合意した。
- ・ 代わりにモーターボート競走会との連携行事として「納涼夏祭り with 尼崎ボートフェスティバル 2022」等に参加した。

2. キャンペーン、海の月間（事業区分8）

（1）「海の日」・「海の月間」関連行事広報

（公財）日本海事広報協会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事広報を推進しました。

7月1日～31日 「海の月間」横断幕を神戸ポートタワー西側連絡橋に掲出

7月18日 「神戸港ボート天国」において広報資料の配布等を実施

7月19日 ①「海の日記念式典」において、出席者に広報紙及び広報資料等を配布

②「海の日祝賀会」に代わり、Youtubeにて「神戸海事広報会長挨拶」

他の『海の日を祝う動画』を「海の日チャンネルKOBE」にて配信

（2）国土交通省海事功労者等表彰式典

「海の日」を迎えるにあたり、7月19日（火）嚴重な新型コロナ感染対策のもと、神戸運輸監理部および近畿地方整備局、並びに第五管区海上保安本部主催による「海の日」記念式典が行われ、国土交通大臣表彰25名、海上保安庁長官表彰10名および神戸運輸監理部49名、近畿地方整備局9名 第五管区海上保安本部15名が表彰されました。

会 場 ホテルオークラ神戸「平安の間」

参加人数 177名

また、姫路地区では7月18日に当協会が参画している姫路海の日協議会等の主催による「海の日」記念式典が開催されました。

（3）海浜・港湾の清掃

（公財）日本海事広報協会の行う「全国ビーチウオーク&クリーアップ大作戦」を実施し、海洋環境保護の啓発に努めました。

いずれも新型コロナ禍の中でやや縮小された活動となりましたが、内容は以下のとおりです。

6月23～24日 「念法寺」 洲本大浜海岸、炬口海岸

参加者約40名 ゴミ収集量 約80kg

念法寺関係者及び地元住民

7月18日	「竹野浜海岸を美しくする会」竹野浜海岸、切浜海岸等 参加者約30名 ゴミ収集量 約80kg 竹野町社会福祉協議会等20団体
7月10～31日	「香美町香住観光協会」香住海岸一帯 参加者約300名 ゴミ収集量 約900kg 各地区観光協会及び地元住民
8月1日	「メリケンパーク協議会」メリケンパーク周辺臨海部 参加者約90名 ゴミ収集量 約90kg メリケンパーク協議会会員等

3. 展示会等（事業区分9）

(1) 海の絵画コンクール入賞展

入賞作品40点

期間 7月17日～8月31日

場所 中突堤旅客ターミナル「かもめりあ」内（来場者数 約40,000名）

(2) 「海の日」ポスターコンクール（日本海事広報協会より委託）

入賞作品7点

① 期間 7月1日～7月31日

場所 神戸第二地方合同庁舎1Fエントランス（約16,800名）

② 期間 7月15日～8月31日

場所 中突堤旅客ターミナル「かもめりあ」内（来場者数 約40,000名）

③ 期間 7月18日

場所 「神戸港ポート天国」本部ブース掲示板（来場者数 約2,000名）

4. 表彰、コンクール（事業区分14）

(1) 海の絵画コンクール

幼稚園、小学生、中学生を対象にした「海の絵画コンクール」を神戸運輸監理部、
・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会の後援のもとに実施し、青少年の海に対する
関心を高めました。

神戸市教育委員会学校教育部 教育指導課 指導主事により、幼稚園等の部・小学
校低学年の部・小学校高学年の部・中学校の部の4部門について審査が行われ、金賞
（国土交通省神戸運輸監理部長賞）4点、銀賞（神戸海事広報協会会長賞）12点、銅
賞（神戸海事広報協会会長賞）24点、佳作81点が選ばれました。

(中学の部)

応募校 27校 応募作品 202点

(小学校の部)

応募校 62校 応募作品 110点

(幼稚園の部)

応募校 28園 応募作品 546点

計 117校(園) 858点

入賞者表彰式	7月17日(日)「かもめりあ」に停泊中の港内遊覧船「boh boh KOBE号」船内にて実施。 参加者 107名(保護者含む)
展示会	7月15日～8月31日 中突堤旅客ターミナル「かもめりあ」内にて展示
その他	入賞作品の紹介動画をYouTube「海の日チャンネル」に配信

(2) 小学生海の作文コンクール

小学生を対象にした「海の作文コンクール」((一財)日本モーターボート競走会からの受託事業)を神戸運輸監理部・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会の後援を得て実施しています。

応募作品は、神戸市教育委員会指導主事の審査により入賞作品10点と佳作が選ばれることとなります。応募の締め切りは12月23日、審査は来年1月を予定。

また今年度は、2月に「かもめりあ」遊覧船上での表彰式を実施予定です。

5. 上記の事業区分に該当しない事業(事業区分18)

(1) 海事知識の普及事業

各種イベント会場等を利用して、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズ等の配付を行いました。

- 7月23日 客船フェスタ2022(ハーバーランドumie)
神戸運輸監理部、神戸観光局と連携し、グッズ配布等を実施
- 8月7日 尼崎ボートフェスティバル(尼崎競艇場)
伊丹市ボートレース事務局と連携し、参加市民にグッズ配布等を実施
- 9月16～17日 マリンカーニバル神戸2022(マリニピア神戸)
神戸運輸監理部ブースにてグッズ配布等(参加総数約1,600、配布450)
※モーターボート競走会連携事業として実施
- 10月14～18日 関西フローティングボートショー2022(新西宮YH)
神戸運輸監理部ブースにてグッズ配布等(参加総数約5,600、配布500)
※モーターボート競走会連携事業として実施
- 10月23日 令和4年度姫路港ふれあいフェスティバル
(姫路港飾万津臨港公園)
神戸運輸監理部ブースにてグッズ配布等(配布400)
※モーターボート競走会連携事業として実施

(2) 資料の整備作成及び配付

(公財)日本海事広報協会作成の広報資料の配付を行うとともに協会会報誌の発行を行い、海事思想の普及を図りました。

II. その他事業(相互扶助等の事業)

1. 「海の日」を祝う会

今年度も新型コロナ禍を考慮して中止となったため、その代わりとして広報協会が運営する「海の日チャンネルKOBE」にて、「神戸海事広報協会長挨拶」のほか、「神戸

海洋少年団の手旗による海の日祝辞」「神戸市消防音楽隊による海の日を祝う演奏」
「海の絵画コンクール入賞作品紹介」等の関連動画を配信しました。

これらの動画作成にあたっては、出演の機関・団体の他、神戸運輸監理部、神戸観光局からも協力、サポートを受けました。

2. その他

関係機関・団体等が実施した以下のイベント等に対し、各種の協力を行いました。

- | | |
|------------|--|
| 6月25日 | 神戸港カッターボートふれあい体験 DAY
(神戸観光局 神戸港カッターレース代替企画) |
| 9月22日～25日 | KOBE NIGHT PICNIC2022 みなとスポーツ DAYS
(メリケンパーク協議会) |
| 10月14日 | 【KRD8】CtoSea プロジェクトリポート動画撮影
(神戸運輸監理部 CtoSea プロジェクト事業協力) |
| 10月17日～21日 | みなと HANABI - 神戸を彩る5日間 -
(みなと花火実行委員会) |
| 10月27～30日 | KOBE NIGHT PICNIC2022 みなとアート DAYS
(メリケンパーク協議会) |

III. 庶務事項

◎第1回理事会（決算書面理事会）

令和4年4月22日 (理事会の決議があったとみなされた日)

◎第58回定時総会

令和4年5月25日 10:30 早駒運輸(株)会議室

◎第1回企画委員会

令和5年1月19日実施予定（対面及びWEB会議を予定）

◎その他（令和4年中まで）

- 4月11日 監事による監査
- 4月13日 姫路海の日協議会役員会
- 5月18日 神戸海事地域人材確保連携協議会
- 5月19日 みなと花火実行委員会監査
- 5月30日 みなと花火実行委員会
- 6月23日 みなとまつり実行委員会
- 6月26日 海の日チャンネル 神戸海洋少年団撮影
- 6月27日 海の絵画コンクール審査会
- 6月29日 海の日チャンネル 神戸市消防音楽隊撮影
- 6月30日 日本海事広報協会WEB会議
- 7月9日 海の日チャンネル 神戸海洋少年団撮影
- 9月27日 みなと花火実施説明会
- 9月28日 メリケンパーク協議会
- 11月9日 みなと花火反省会
- 12月23日 令和4年度海事広報協会事務局長会議（予定）